

シンポジウム  
**富士見の農業**  
～一粒の種から見えること～

富士見市内の農業関係者をパネラーとして迎え、市内で行われている多様な農業の実例を紹介し、それが持つ特徴や課題を共有しながら、富士見の農業が地域、そして文化と関わりを持ち育まれてきたその歴史を紐解いていきます。また、俳優、坂本長利さんによる独芝居『土佐源氏』の上演や、地元で採れた農作物の展示販売、試食などのイベントを併催し、参加者相互の交流を深めていきます。農業と文化の振興を連動させ共に地域の可能性を考える一日です。

**平成26年12月20日（土）**  
**12時30分開演（12時開場）**  
(開演後の入場をお断りする場合もございます)  
**富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ マルチホール**  
埼玉県富士見市大字鶴馬 1803 番地 1  
**入場無料・要予約**

# シンポジウム『富士見の農業～一粒の種から見えること～』

## I 部 市内の農業実践の実例紹介と地域における農業と文化の関わり

### 【パネリスト】

関野 幸生（関野農園代表）

成田 大治郎（3552syokudo オーナー）

新井 則幸（富士見市農業研究団体連絡協議会副会長、南畠公民館利用者の会会長、前農業委員）

時田 裕（JA牛部会会長、前富士見市農業研究団体連絡協議会会长、富士見市特別栽培米研究会会員）

小川 知子（どんぐり小屋主宰、柳下農園スタッフ）

＜途中休憩 15 分間＞

## II 部 俳優、坂本長利さんによる独芝居『土佐源氏』上演

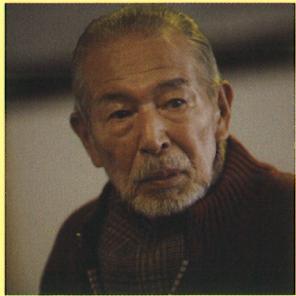
地元農作物等の展示や試食販売を行う交流コーナーもあります。

### 『土佐源氏』とは

山口県出身の稀代の民俗学者・宮本常一氏の著書『忘れられた日本人』に登場する盲目の老人、高知の山奥で実際に聞き書きした元馬喰（牛馬売買人）の色懺悔ともいえる一代記を、坂本長利が独演劇化したものである。昭和42年、37歳でこの老人を演じてから48年間、上演回数は1160回を超え、呼ばれればどこへでも出掛けた上場する「出前芝居」を続けている。



撮影：西川比呂司



坂本長利

昭和4年（1929年）、島根県出雲生まれ。「ぶどうの会」「変身」等の劇団を経て、小劇場運動の先駆けとして活動。大劇場における商業演劇公演を含め、映画・テレビ・ラジオドラマなどあらゆるシーンでその演技力と存在感を発揮している。60年以上の芸歴の中で、数多くの名だたる俳優と共に演じ、作家・演出家からも高い評価を得ている。テレビドラマでは『Dr.コト一診療所』の村長役等で親しまれた。2013年9月公開、坪川拓史監督映画『ハーメルン』では西島秀俊、倍賞千恵子らと共に主演。代表作である独演劇『土佐源氏』は、昭和42年の初演以来47年間、国内のみならず海外でも絶賛され、上演回数は1,160回を超える。ほかに、作家・水上勉が坂本の独り語りのために書き改めた『越前竹人形』も展開中。85歳の現在も、精力的に舞台に立ち続けている。1985年に紀伊国屋演劇賞特別賞、2000年に旅の文化賞を受賞。

撮影：松木雄一

申込み・問合せ / 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ TEL 049-268-7788

（キラリ☆ふじみへ直接来館または電話、ホームページ <http://www.kirari-fujimi.com/> からのオンライン申込みにて）

主催 / 公益財団法人キラリ財団 後援 / 富士見市 富士見市農業研究団体連絡協議会

### 【交通のご案内】

最寄駅 = 東武東上線「鶴瀬」駅まで池袋より準急で29分。東口よりタクシーで8分。徒歩20分。富士見市役所隣り。

みずほ台、鶴瀬、ふじみ野の各駅東口から市内循環バス（有料170円）のご利用が便利です。「富士見市役所」にてお降りください。乗車時間は各駅より約15分です。※時刻はお問い合わせください。

※無料駐車場がありますが、富士見市役所及び会館周辺道路の整備工事のため台数に制限がございます。

